学校番号	４１１

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館出版）						
副教材等	最新高等保健体育ノート　（大修館出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能や体力を高めると同時に、集団の中で行動する力を養おう。
●自他の運動を客観視し、分析することで興味や関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
●体育の授業を通して、運動技術・技能の習得方法と効果的なスキル発揮の方法を学び、自己の運動パフォーマンスを最大限向上させる方法を考えてみよう。

2　学習の到達目標

●健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的・計画的な実践を通して、運動を習慣化させる。
●各種目を通じて各々の運動特性を知り、それらに応じた身体の動かし方や運動技能・技術を身につけ、それらの効果的な発揮の仕方を身につける。
●運動における合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を築く。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 体育理論の実践 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論の実践 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	体つくり運動	体力を高める運動 新体力テスト	○	○		○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察 レポート
	体つくり運動・剣道(男子)　体つくり運動・水泳(女子)	【男子】 体つくり運動 和泉高体操 トレーニング 武道 剣道 【女子】 体つくり運動 和泉高体操 トレーニング 水泳 クロール	○	○	○	○	a:和泉高体操を中心とし、集団として 1 つのものを作り上げるために、自己責任を果たそうとする態度や、体力を高めるトレーニングを行う際に、安全管理に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって、体力を高めるために必要な運動を実践するため、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:和泉高体操の特性に応じた、効率的な技能を身に付けている。 d:技能習得・発揮方法、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
2学期	陸上競技・水泳・剣道(男子)	【男子】 陸上競技 跳躍種目 走り幅跳び 三段跳び 武道 剣道 水泳 クロール	○	○	○	○	a:武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康・安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって剣道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:剣道の基本的な技を習得し、得意技を身に付けている。 d:伝統的な考え方、剣道具の着用の仕方、技能の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	陸上競技・器械体操(女子)	【女子】 陸上競技 投擲 ターボジャブ やり投げ 器械体操 マット運動 回転系 巧技系	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう互いの違いや良さを認めあうこと、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能やイメージを深めた表現を身につけている。 d:器具や道具の扱い方や技の名称、用語、表現の仕方など、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

	体育理論	運動･スポーツの文化的特徴	○	○		○	a:人間の体の動き、スポーツの歴史や文化について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:人間の体の動き、スポーツの歴史や文化について、必要な情報を収集し、比較・分析したりしてまとめた考えを説明できる。 d:人間の体の動き、スポーツの歴史や文化について、発言したり書き出したりしている。	受講態度の観察 ノート レポート 体育理論のテスト
3学期	陸上競技	陸上競技 長距離走 インターバル走 タイム走	○	○	○	○	a:走る楽しさや喜びを味わうことができるよう、自己の記録に挑戦すること、自己の進歩を確認すること、他者の姿勢を讃えることやマナー・ルールを大切にしようとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、ランニング技能やフォームが身に付いている。 d:各種目の運動効果、用語、ランニングフォームなど、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
c:運動の技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。